

# 例会のお知らせ

## 10月の例会

### 降水機構およびレーダー気象

日時：昭和35年10月21日(金)13時30分より

場所：気象庁第1会議室

主題：集中豪雨に関するシンポジウム

第2部 講演題目(話題提供)

1. 佐々木良一(気象庁予報)：Broad scale から見た集中豪雨の予報の可能性
2. 杉浦 茂(気象庁予報)：Synoptic scale による集中豪雨の予報
3. 松野太郎(東京大学)：昭和32年諫早市周辺の集中豪雨の解析
4. 大塚 茂(東京管区)：レーダーエコー解析から見た東京の豪雨
5. 渡辺和夫(気研台風)：Line squall でない集中豪雨の2例

座長：石原健二(気象庁予報)

### 気象災害に関する講演会

場所：気象庁研修所東京教場

日時：10月28日(金)

#### 1. 一般報告 9時30分より

- (1) 台風経路と県別被害高との関係について  
奥田 穰(気象庁予報部)
- (2) 台風の風 渡辺 和夫(気象研究所)
- (3) 気象災害系研究における位相幾何学的研究  
渡辺 次雄(気象庁研修所)
- (4) 中部日本における DDA~曲線と災害の規模について  
正務 章  
毛利 聡明(東京管区気象)
- (5) 災害の変化 肥沼 寛一(気象庁予報部)
- (6) 日本における可能最大風速について  
高橋浩一郎(気象庁予報部)
- (7) 府県災害年表からみた過去の災害記録について  
斎藤 鍊一(気象庁観測部)

(8) 台風防災効果の評価について

久米 庸孝(気象庁予報部)

2. 災害調査の問題点(シンポジウム) 午後一時より、  
災害に関する各学会から話題提供者がでる予定

### 大気汚染

日時：昭和35年10月28日(金)13時より

場所：気象庁研修所教室\*\*

主題：大気汚染一般

第2部 講演題目

1. 成瀬弘, 丸山晴久(気研応用)：新型サーマル・プレシピテーターの試作について(15分)
2. 浜 昊一(気研応用)：大気中に浮遊する海塩粒子の測定結果(10分)
3. 内山一郎(東京管区)：電気集塵器による採集塵と視程との関係(20分)
4. 伊東暈白(気研応用)：東京上空の大気汚染観測(15分)
5. 山路 勲, 森口 実(気研応用)：東京上空の浮遊粒子について(15分)
6. 太田芳夫(東京管区)：東京都内および東京タワーにおける視程(20分)
7. 鈴木義男(東航気)：東京国際空港の視程と大気汚染(20分)
8. 橋本梅治(東航気)：視程観測の研究(10分)
9. 三宅泰雄, 川村 清, 桜井澄子(気研化学)：大気亜硝酸濃度の日変化(20分)
10. 中野道雄(大阪管区)：大気煤塵濃度の変化について(15分)
11. 森口 実, 佐藤純次(気研応用)：東京で観測した浮遊煤塵濃度の変動について(15分)
12. 久保時夫, 箕輪年雄(横浜気)：下層大気汚染日変化について(第1報)(15分)
13. 角川正義(原研)：大気中放射能日変動の解析(20分)

## 11月例会予告

### 関東・中部地区気象研究会

(東京管区気象台と共催)

日時：昭和35年11月29日(火)および30日(水)9時より

場所：公立学校共済組合愛知宿泊所王山荘(名古屋市中種区覚王山通り8の17)

主題：気象一般

締切：昭和35年10月20日(必着のこと)

宛先：東京都千代田区大手町1の7

東京管区気象台 藤田兼吉

## 12月例会予告

### 気象電気

日時：昭和35年12月8日(木)10時より

場所：気象庁第1会議室

主題：気象電気一般

第2部 研究発表講演申込\*

締切：昭和35年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4丁目 気象研究所 三崎方郎

### IGY シンポジウム

日時：昭和35年12月(日は未定)

場所：気象庁第1会議室

主題：IGY 関係一般

第2部 研究発表講演申込\*

締切：昭和35年10月31日

宛先：東京都杉並区馬橋4丁目 気象研究所 武田 武

\*第1部 一般研究発表 毎月の例会に行いますから講演題目、所要時間、

アブストラクトをつけて下記へ申込みたい、

宛先 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎

\*\*予告の場所を変更しましたら御注意下さい。

## 日本気象学会昭和35年度例会(第2部)および国際数値予報シンポジウム予定

昭和35年11月 国際数値予報シンポジウム(29頁参照)

関東・中部地区気象研究会

第7回風のシンポジウム(32頁参照)

12月 気象電気; IGY シンポジウム

昭和36年1月 気象輻射; 太陽活動; 気候

2月 観測と測器; 長期予報と統計

3月 航空気象